



ゆきぐみだより

令和5年8月1日（火）
尚徳福祉会 井荻保育園

降り注ぐ真夏の太陽やアスファルトからの熱でなかなか戸外に出られない季節ですが、子ども達は涼しい保育室内で保育者と一緒に自由に身体を動かし過ごしています。簡単な手遊びをしたり、積み木を並べたり、積んだ積み木を倒したり、ボール落としをしたり、布団山や滑り台を登って下りてみたり、簡単なわらべうたやリズム遊びをしたりと、日々楽しんでいます。友だちのしていることに興味をもって目と目を合わせてにっこり笑顔になることも。気が付けば、あっという間に食事の時間…というのが日常です。まだまだ一人一人の生活リズムが違い、睡眠やお腹の空く時間もバラバラですができる限り一人一人に合わせていこうというのが0歳児クラスです。月齢があがると共に午前睡の必要がなくなり、食事が終わったらまとまった時間寝られるようになり段々とリズムも整ってきますが、それまでは、同時に遊んでいる子もいれば寝ている子もいる、食べている子もいる、そんなゆきぐみです。

暑い夏！！身体の疲れがでやすいと思います。栄養、水分補給、睡眠、肌を清潔に保つ。これらを意識しながら保育していきます。ご家庭でもリズムはできるだけ変えず無理なく過ごしていきましょう。



今月のわらい

- 栄養や休息を十分にとり、安定した生活リズムの中で元気に過ごす。
- 広々とした環境の中で、室内探索や遊具で全身を使って遊ぶ事を楽しむ。

みずあそび～お風呂みたい

小さな桶、ジョウロ、ひしゃく、水車、そして水(ぬるま湯)、初めは何が始まるのかと戸惑う子ども達でしたが遊びを繰り返しているうちに楽しくなってきたようです。水面を叩いたり打たせ水に手を伸ばしたり～桶の水をひっくり返したりと自ら関わる姿が見られます。でもまった！！スプーン一杯の水でも溺れるという水は本当に怖いです。絶対に目を離さない事、この事を前提に遊びの一つとして取り入れていきます。



☆毎週火曜日は、つめきりデーです。
つめのチェックをお願いします。

～保育や子育てを安全に～

でも安全ばかりでは子どもは育たない？

子どもが成長していく中で怪我はつきものです。と言ってしまうと心配や不安を感じてしまう方が多いのではないのでしょうか。でもどうなのでしょう？おそらく人との接触をやめ何も無い環境で過ごしていれば怪我はしないでしょう。でもこれでは子どもの育ちにとって最悪な環境と思われれます。怪我に大小はないのですが、やっぱり対人や様々な環境とともに怪我のリスクがありながらも成長してほしいと思います。集団生活の場において保育士は保育における重大事故を未然に防ぐ為に研修を受けたり勉強したりしています。また、子どもの怪我は年齢とともに変わってくることも知識としては持っています。0歳児クラスで起きやすい怪我(事故)は、窒息、誤嚥、つかまり立ちなどでの転倒、歩行の転倒です。一人一人の発達を把握しながら重大事故につながらないように、これからも保育していきます。

ゆき組担任